

# 9.12豪雨災害から45年

安八町に甚大な被害をもたらした9.12豪雨災害から今年で45年が経ちます。毎年、全国各地で地震や風水害などの被害が発生している今日、いまやいつ自分の身に起こってもおかしくありません。日頃から防災意識を高めておくことが大切です。災害に対する備えをいま一度見直してみましょう。

## 災害の概要

昭和51年9月、停滞する台風17号の影響で8日から降り続いた雨は、11日には1時間当たり約40ミリとなり、長良川・揖斐川は全域にわたって警戒水位を超え、特に安八町を取り巻く揖斐川左岸、墨侯町桜堤防、長良川右岸は危険状態になりました。

9月12日午前5時には墨侯町における長良川の水位は7.14メートルにもなり下流域でも警戒態勢が取られました。その日パトロールをしていた消防団員が大森地内の堤防の中断に亀裂を発見。直ちに補強工事が行われましたが、10時28分右岸堤防が約50メートルにわたって決壊しました。濁流が轟音とともに町内に流れ込みました。安八町・墨侯町のほとんどの住宅は浸水。低いところは、1階天井まで水に浸かりました。

## 被害の概況

家屋半壊	84世帯
家屋床上浸水	1,744世帯
家屋床下浸水	366世帯
死者	1名
田畑埋没	16ヘクタール
田畑冠水	870ヘクタール
農作物収穫	皆無
被害総額	140億円

役場南東に建てられた災害碑より

## 災害に対するご家庭での備え



### ○ハザードマップを確認

災害が発生した場合の危険箇所を確認するための地図です。あらかじめ家から避難所までの経路を確認しましょう。あんぱちナビで確認できます。

### ○非常用持ち出しバッグの準備

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すものをあらかじめ準備しておきましょう。

### ○安否確認の方法

別々の場所にいる時に災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、安否確認の方法や集合場所などを事前に話し合っておきましょう。

首相官邸災害に対するご家庭の備え <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>



## 9/12 安全祈願祭

長良川の決壊から46年目を迎えました。今年も大森地内の治水観音像前でご遺族、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所高橋裕輔所長に参列をいただき、安全祈願祭を執り行いました。長良川決壊時刻の午前10時28分にサイレンが吹流され、参列者一同、犠牲になられた方のご冥福、安八町の永遠の安全を願い、黙とうを捧げました。

堀町長は「安八町にとって忘れてはならない日です。二度と悲惨な経験をしないよう後世に伝えていき、町民の皆さまと共に安心して暮らせる町づくりを進めていきます」と述べました。



▲犠牲者のご冥福と町の安全を願う堀町長